2016年3月期
決算説明資料

2016年5月17日

クラリオン株式会社

ご挨拶

会長兼CEO　泉　龍彦

決算報告及び
中期事業戦略のご説明

社長兼COO　川本　英利

1. 2016年3月期 決算概況

2. 中期事業戦略

＜2017年3月期～2019年3月期＞

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

1. 2016年3月期 決算概況

2. 中期事業戦略

＜2017年3月期～2019年3月期＞

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

2017年3月期より「調整後営業利益」を利益指標のひとつとして開示します

調整後営業利益とは売上収益から、
売上原価ならびに販売費及び一般管理費
の額を減算して算出した指標です。

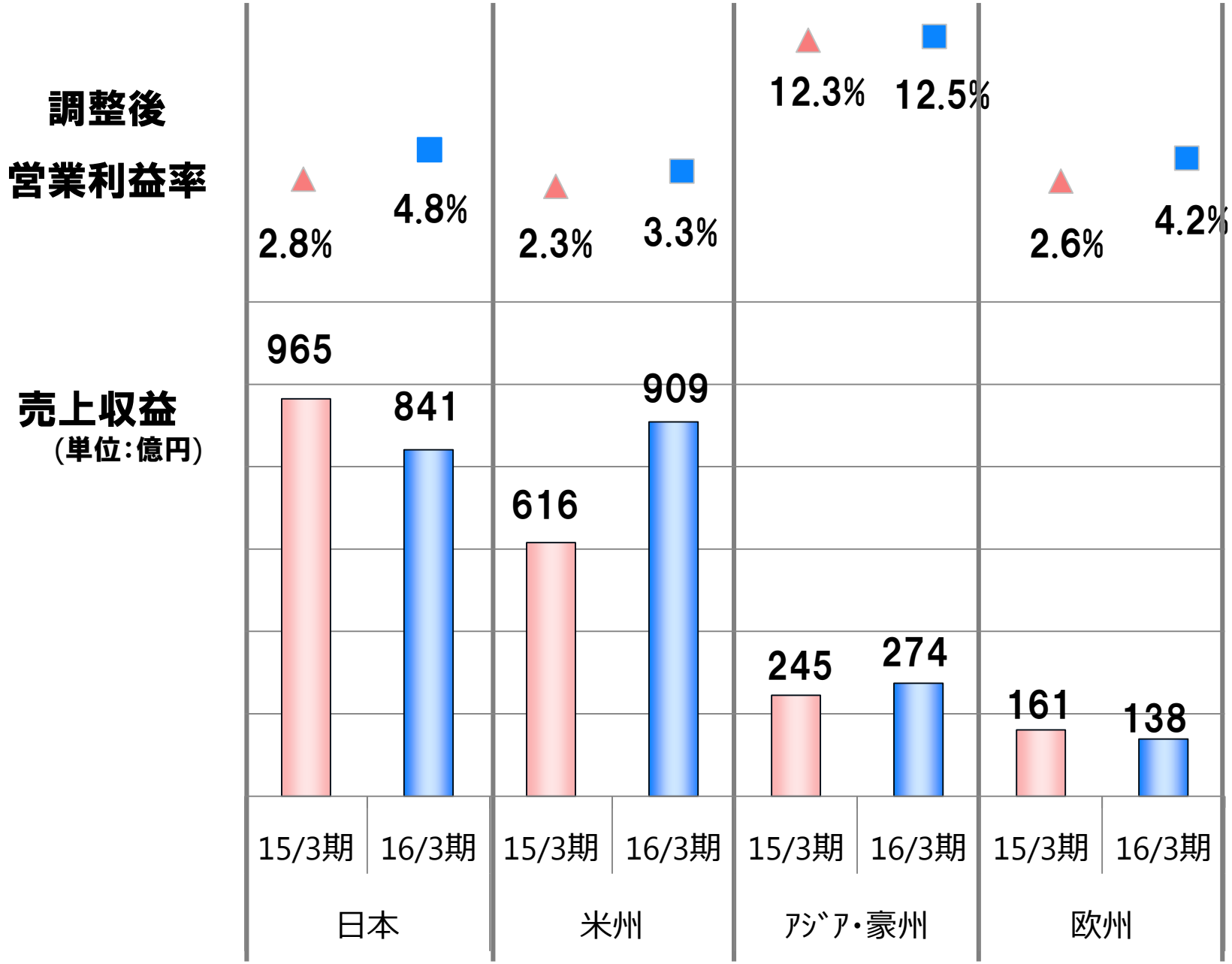
連結業績

億円未満四捨五入
（単位：億円）

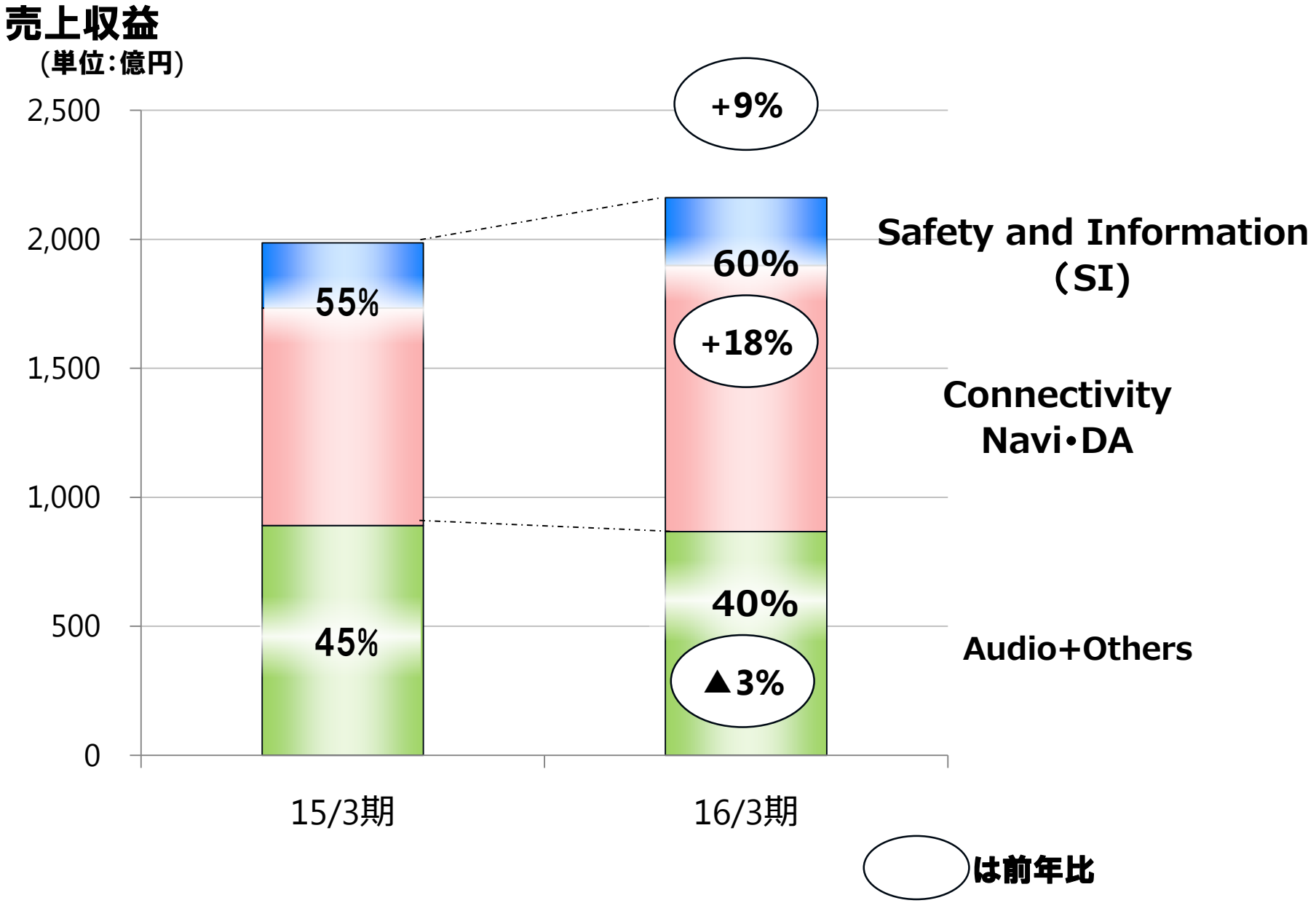
	15/3期		16/3期		前期比増減	
売上収益	1, 986		2,162		+176	+9%
調整後営業利益	76	3.8%	110	5.1%	+34	+45%
EBIT	64	3.2%	107	4.9%	+43	+67%
税引前利益	61	3.1%	105	4.9%	+44	+71%
親会社当期利益	49	2.5%	77	3.6%	+28	+59%
配当	2円		3円		+1円	
為替レート	（期中平均レート）US$=¥110		（期中平均レート）US$=¥120		10円安	
	（期中平均レート）EUR=¥139		（期中平均レート）EUR=¥133		6円高	

なお、億円未満四捨五入の関係で増減等に±１億円の計算差異が発生することがあります。

地域セグメント別売上・調整後営業利益



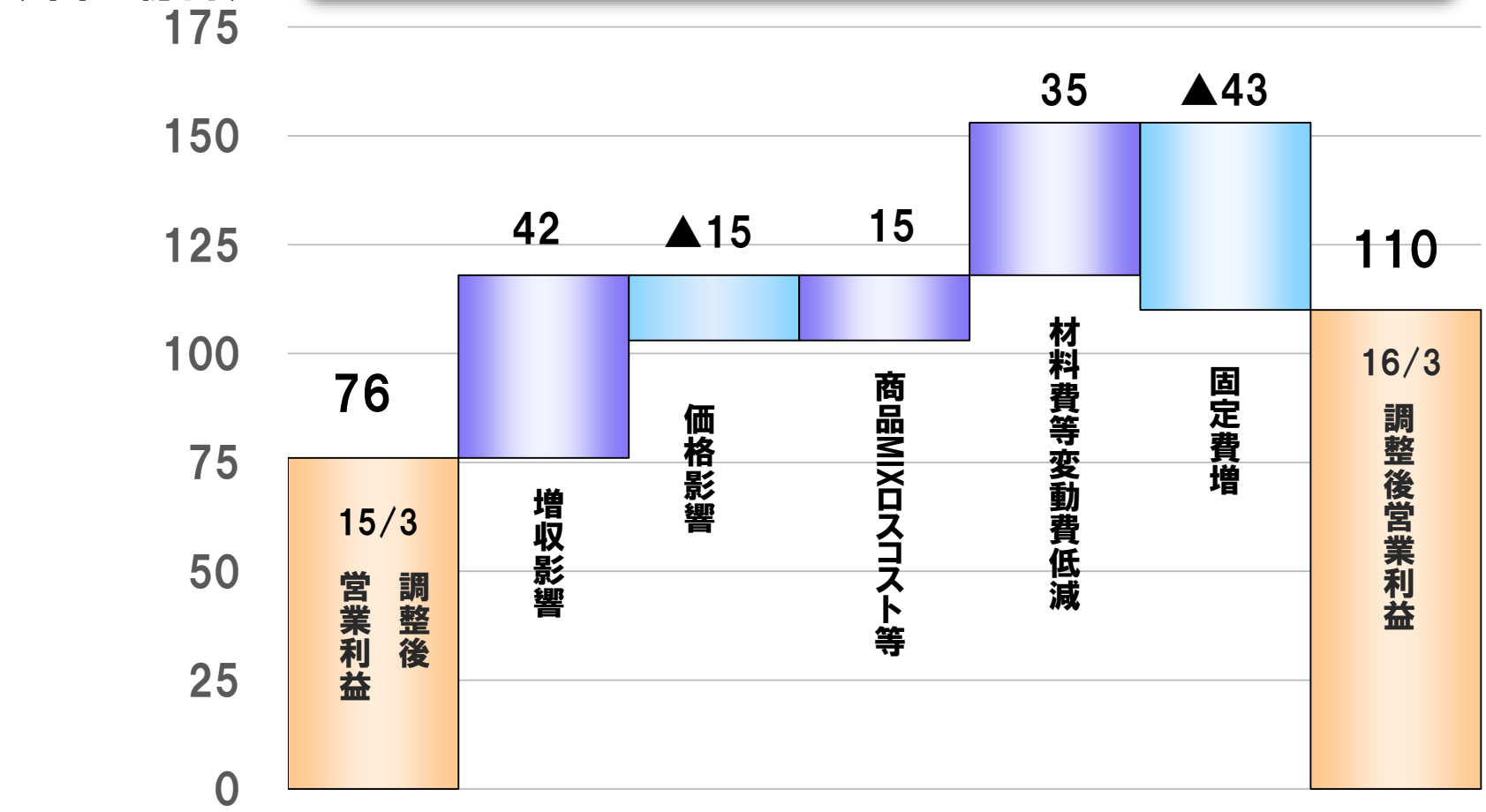
製品セグメント別売上


売上収益
（単位：億円）
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
+9%
55%
60%
+18%
45%
40%
▲3%
15/3期
16/3期
Safety and Information
（SI）
Connectivity
Navi・DA
Audio+Others
は前年比

調整後営業利益前期比較

Clarion

調整後営業利益 110億円（34億円の増益）



財政状態計算書

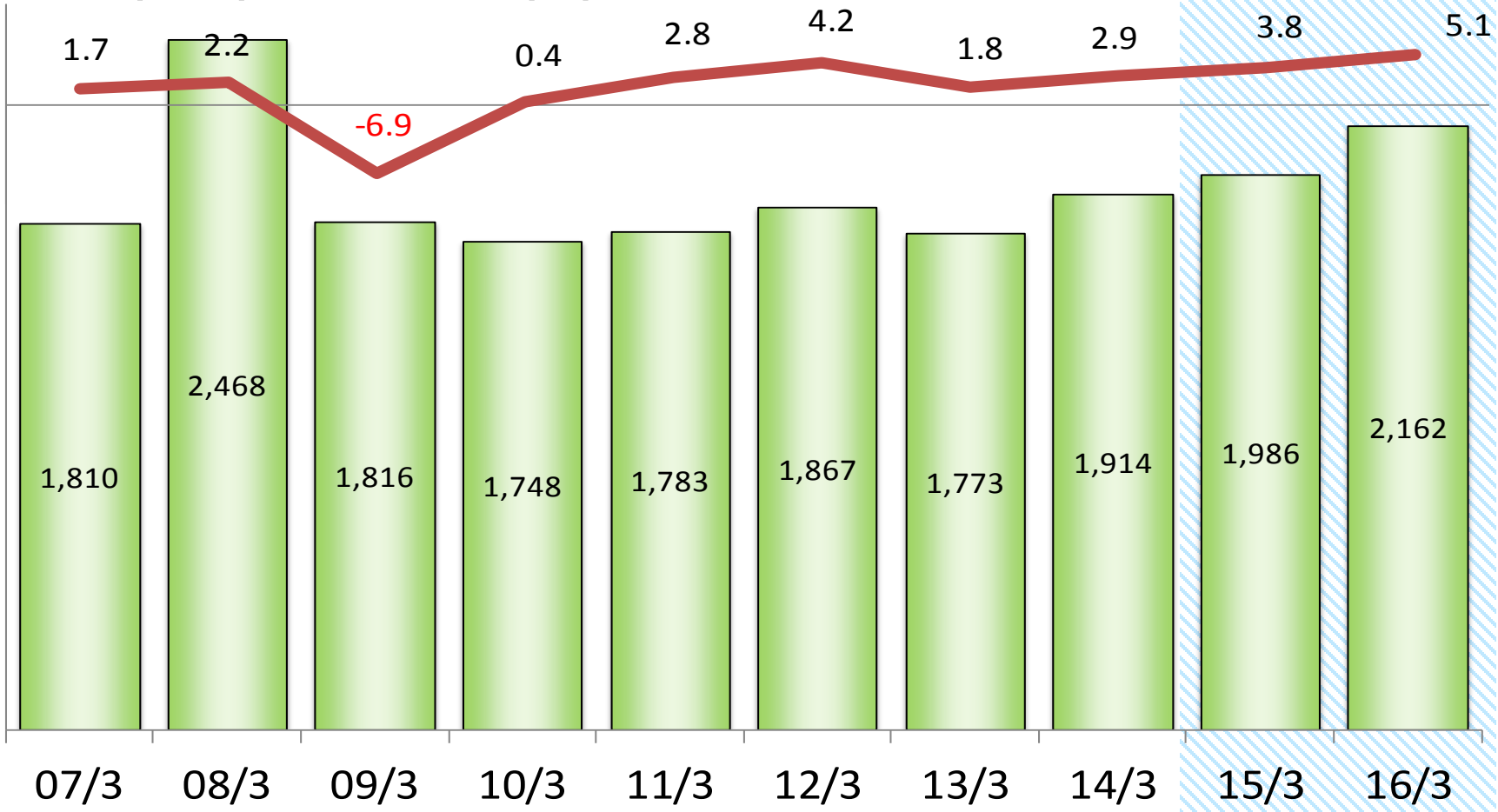
億円未満四捨五入（単位:億円）

	15/3期	16/3期	前期比増減
棚卸資産 （回転日数）	225 (40.2日)	224 (38.0日)	▲1 (▲2.2日)
現預金及び現金同等物	83	143	+60
有利子負債	363	359	▲4
ネット有利子負債	281	216	▲65
資本合計 （親会社所有者帰属持分比率）	350 (26.9%)	379 (28.8%)	+29 (1.9%)

業績推移(07/3-16/3期)

売上収益(億円)&営業利益率(%)

日本基準← →IFRS基準



親会社株主持分比率(%)

07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3
22.8	21.2	7.6	8.1	8.2	13.3	18.6	21.0	26.9	28.8

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

2017年3月期経営指標

億円未満四捨五入（単位:億円）

	16/3期		17/3期(予想)		前期比増減	
売上収益	2,162		2,000		▲162	▲8%
調整後営業利益	110	5.1 %	100	5.0 %	▲10	▲9%
EBIT	107	4.9 %	94	4.7 %	▲13	▲12%
税引前利益	105	4.9 %	90	4.5 %	▲15	▲14%
親会社当期利益	77	3.6 %	65	3.3 %	▲12	▲16%

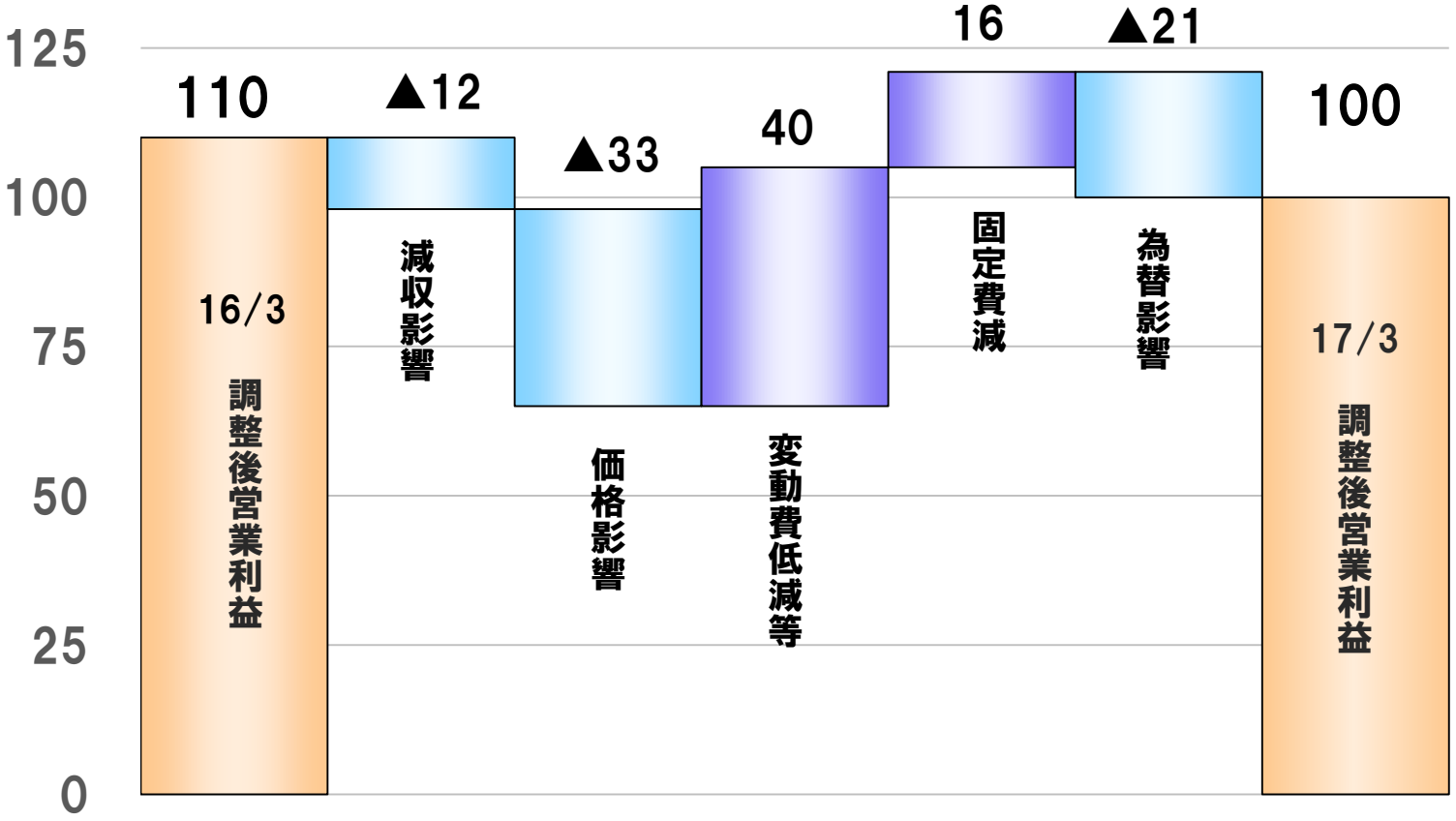
為替レート		
	(期中平均レート) US$=¥120	(想定レート) US$=¥110
	(期中平均レート) EUR=¥133	(想定レート) EUR=¥120

なお、億円未満四捨五入の関係で増減等に±1億円の計算差異が発生することがあります。

2017年3月期調整後営業利益

（単位:億円）

調整後営業利益 100億円



1. 2016年3月期 決算概況

2. 中期事業戦略

＜2017年3月期～2019年3月期＞

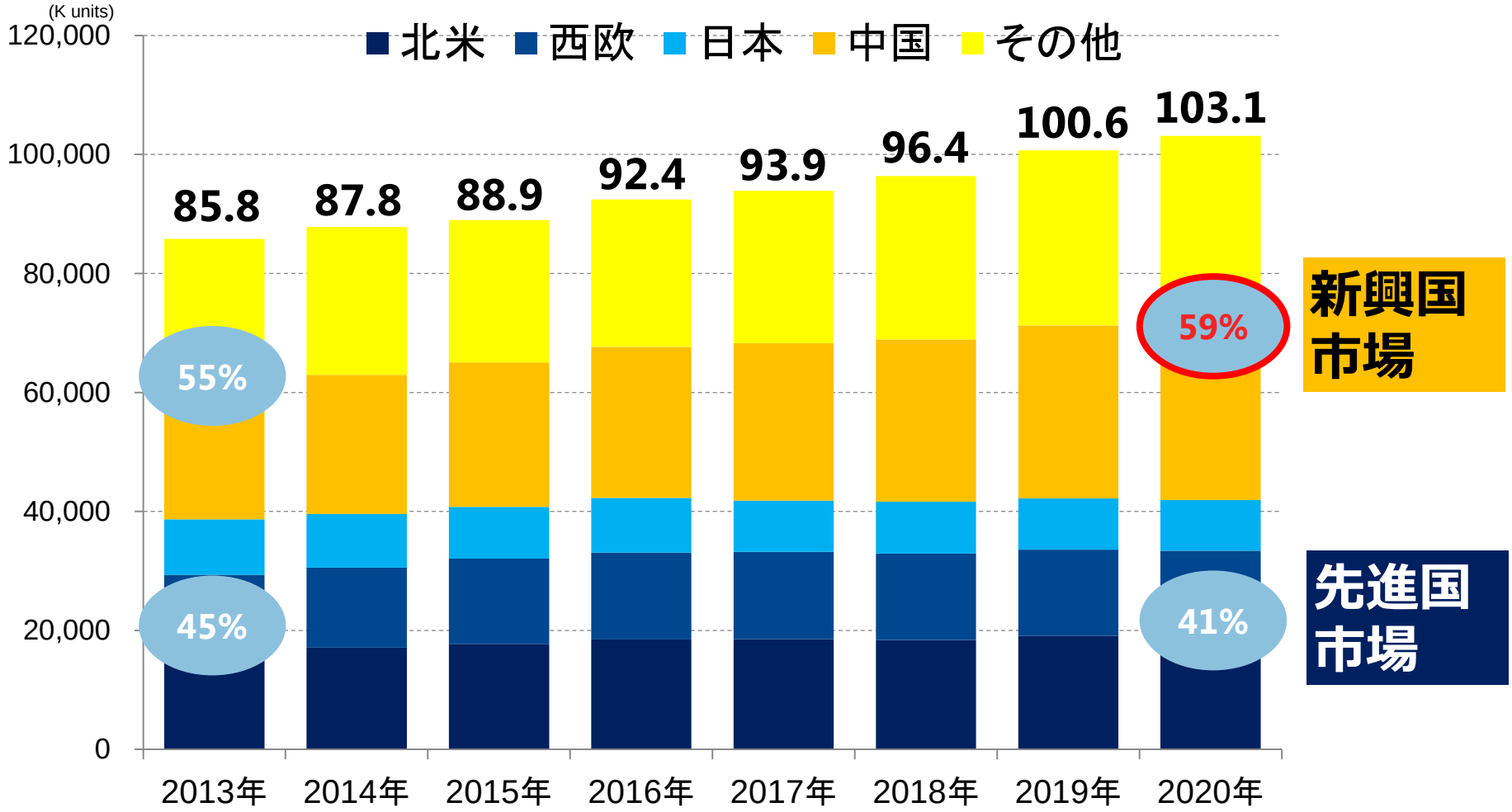
Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

世界自動車生産台数見通し （地域別）

Clarion

2020年車両生産は約1億300万台（13年比 120%成長）

新興国比率　13年 55%　⇒　20年 59%



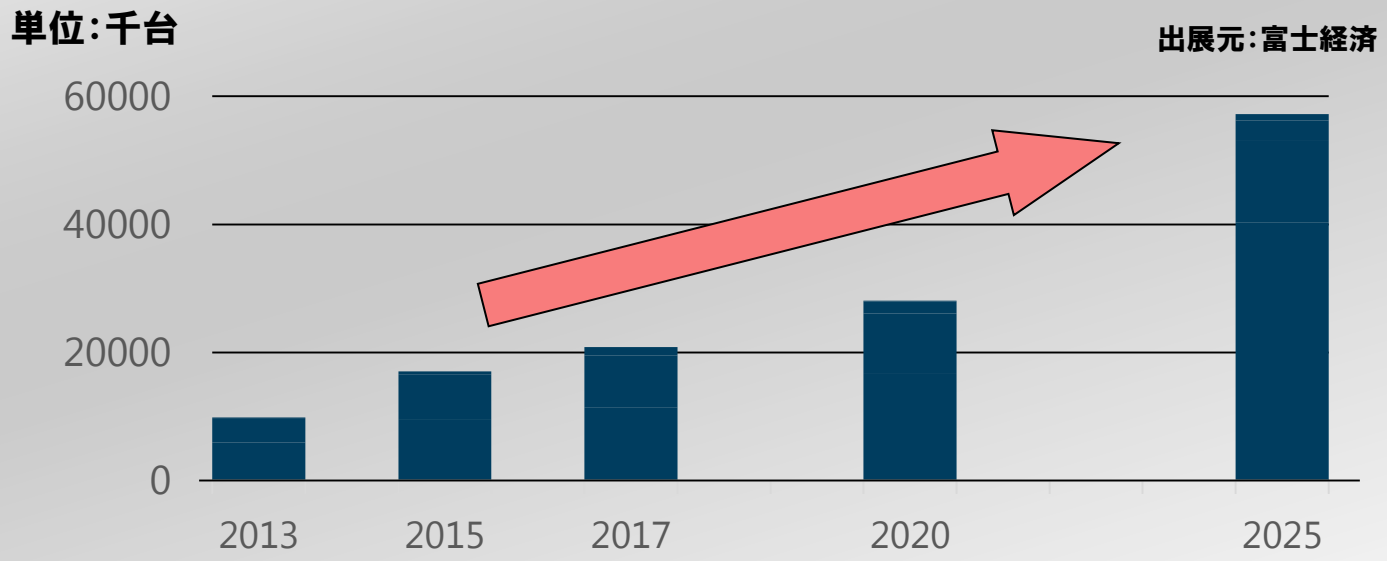
Source: IHS Automotive社調査資料

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

社会動向・技術動向

コネクテッドカーやADAS/ADの本格普及に向けた社会の準備が進む

コネクテッドカー推移予測



	2010年	2015年	2020年	2025年
安全性評価	衝突警報・回避	歩行者衝突回避	夜間歩行者衝突回避	
自動化レベル	ADAS	ADAS / 自動運転	自動運転	自動運転
技術要素	既存の技術だけではなく、あらゆる技術の融合が必要（コネクテッド、センシング、セキュリティ、ＡＩ）			

経営方針

Clarion

2020年を見据え車両情報システムプロバイダーとして、大きく変わるための基盤づくり

◇ 成長地域での現地ビジネスの拡大
◇ グローバルポートフォリオの変革加速
◇ 事業ポートフォリオの変革加速

経営目標

2019年3月期

売上高　2,300億円以上
連結営業利益率　5％以上

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

グローバルポートフォリオの変革

マーケティング×販売の強化

欧州
◆ロシア現地法人設立
◆安心・安全事業の拡大

北米
◆コネクテッド事業拠点強化
◆サービスビジネス拡充
（UBIビジネス等）

日本
◆B to B事業の拡大
◆CV事業体制強化
◆SI製品などの高付加価値製品へシフト

中国
◆現地顧客拡大

アジア
◆ローカルビジネスの拡大

UBI : Usage Based Insurance
CV : Commercial Vehicle
SI : Safety Information

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

グローバルポートフォリオの変革

開発×生産の強化

開発（中国）

◆開発効率/生産性向上による開発費低減
◆光庭社との合弁会社設立
◆中国でのローコスト部品の積極的な活用によるコスト低減

開発（日本）

◆先行開発
◆グローバル総開発費低減推進
・プラットフォーム開発を行い、グローバルで活用
・ソフト開発の海外強化/シフト

開発（アジア）

◆マレーシアR＆Dの強化

開発（メキシコ）

◆中南米向け製品開発

生産・購買

◆最適地生産の追求
◆モノづくり力強化・IoT化
◆TSCM改革

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

グローバルポートフォリオの変革

Clarion

武漢光庭との合弁会社設立

設立目的

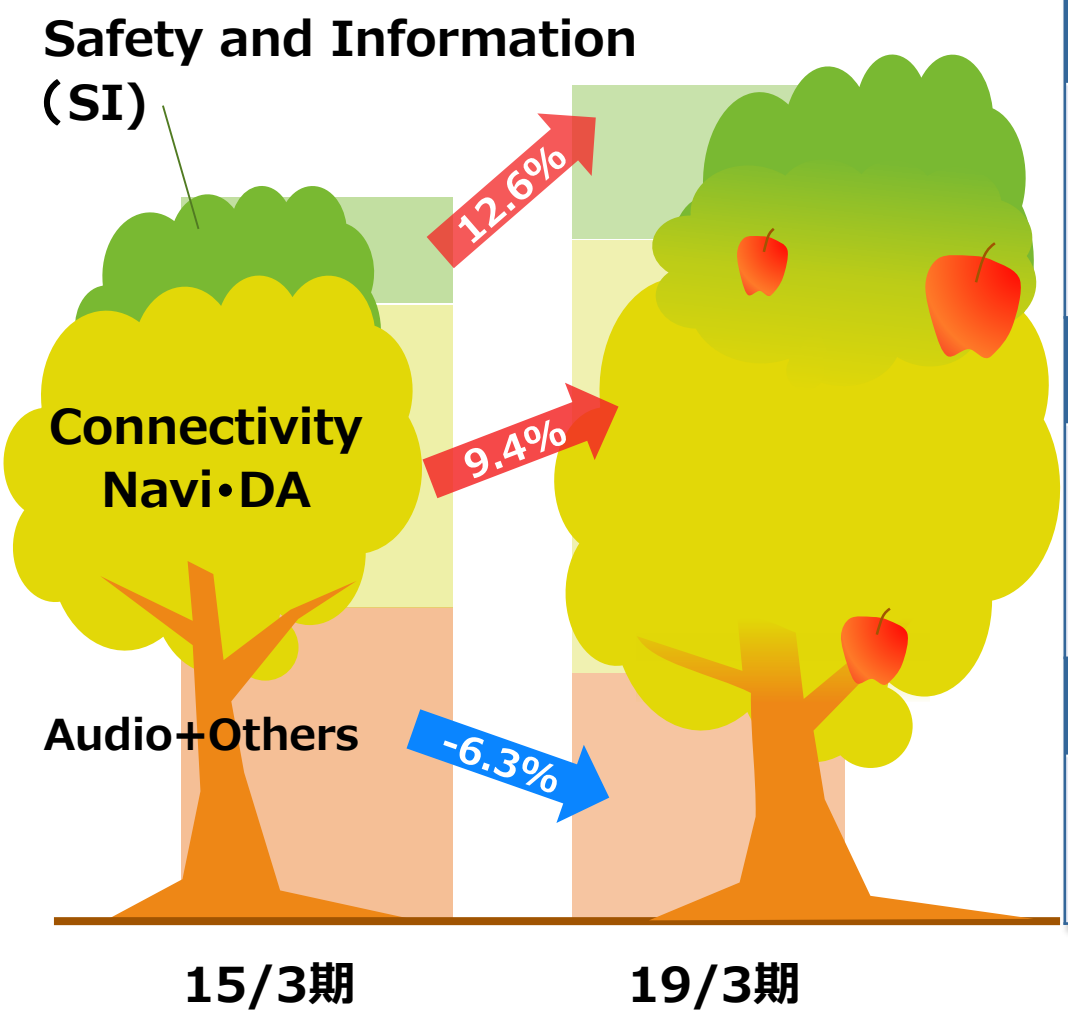
- ◆ ソフト開発要員の強化
- ◆ 地図オーサリング技術の活用
- ◆ 中国民族系企業へのビジネスアプローチ

1) 会社名： 武漢光庭信息技術股份有限公司
2) 所在地： 湖北省武漢市東湖新技術開発区軟件園
3) 資本金： 66.7百万人民RMB
4) 董事長： 朱敦尧 (武漢理工大学教授)
5) 従業員： 793人(2015.11現在)
6) 事業内容： ・ナビ用ソフトウェア開発、地図データのオーサリング
・車載系および通信系組込ソフト・ハード開発
・LBA(Location Based Service)システム開発
・データセンタの運用

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

事業ポートフォリオの変革加速（製品戦略）

CAGR 3.7%



◆基本方針◆

Safety and Information

進化するサラウンドアイ
安全運転支援

Connectivity

スマートコックピットシステムと統合HMI

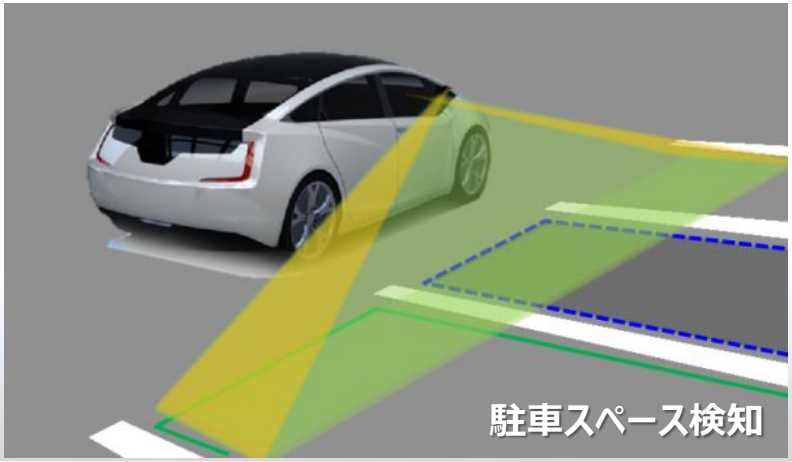
全商品

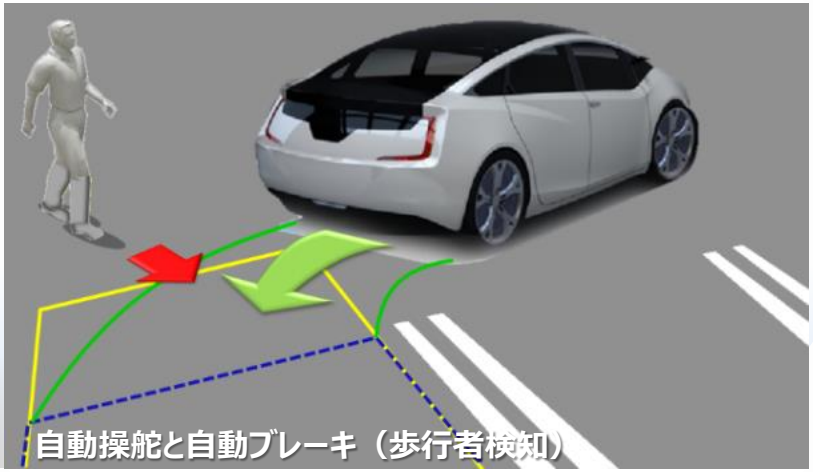
コスト構造改革

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

自動駐車システム

駐車アシストからオートパーキングへの進化





情報システム

画像認識と車輌制御システム

車輌制御信号

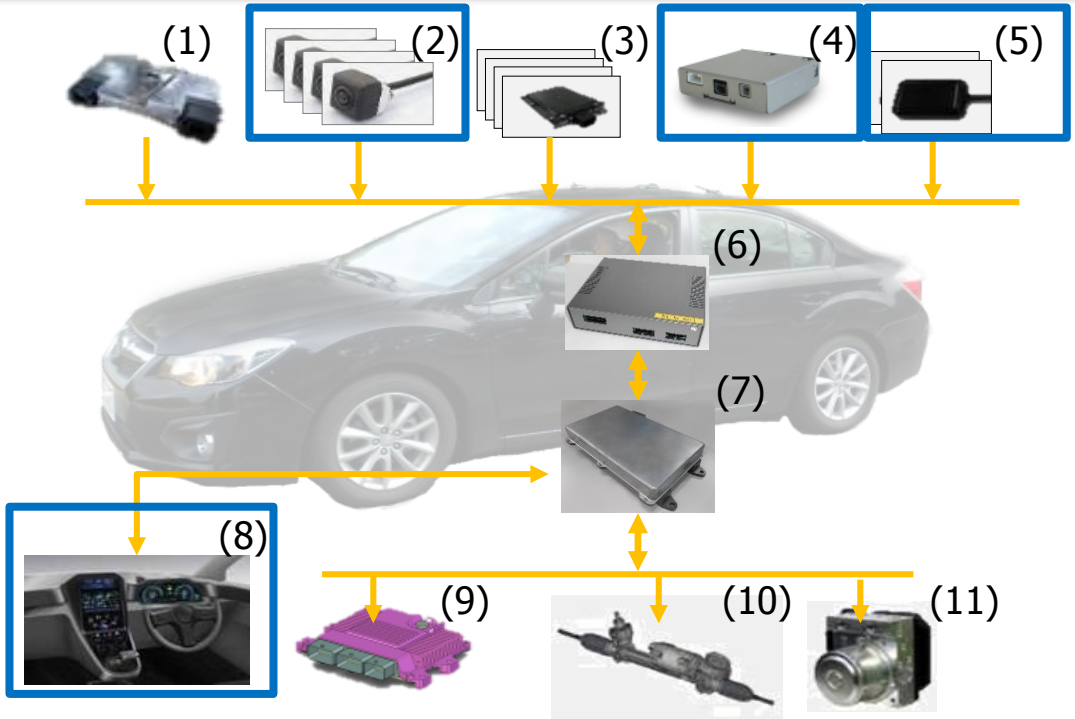
ハンドリング機能に加えてブレーキ、アクセル操作を加えたオートパーキング

バレーパーキングの実現

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

公道実証実験

統合車両構成



センサー

(1) 小型ステレオカメラ
(2) サラウンドアイカメラ
(3) 24GHzレーダー
(4) MPU(高精度地図)
(5) 通信装置(C2X)

統合制御

(6) セントラルゲートウェイ
(7) 自動運転ECU
(8) IVI システム

アクチュエータ制御

(9) エンジン制御
(10) ステアリング制御
(11) ブレーキ制御

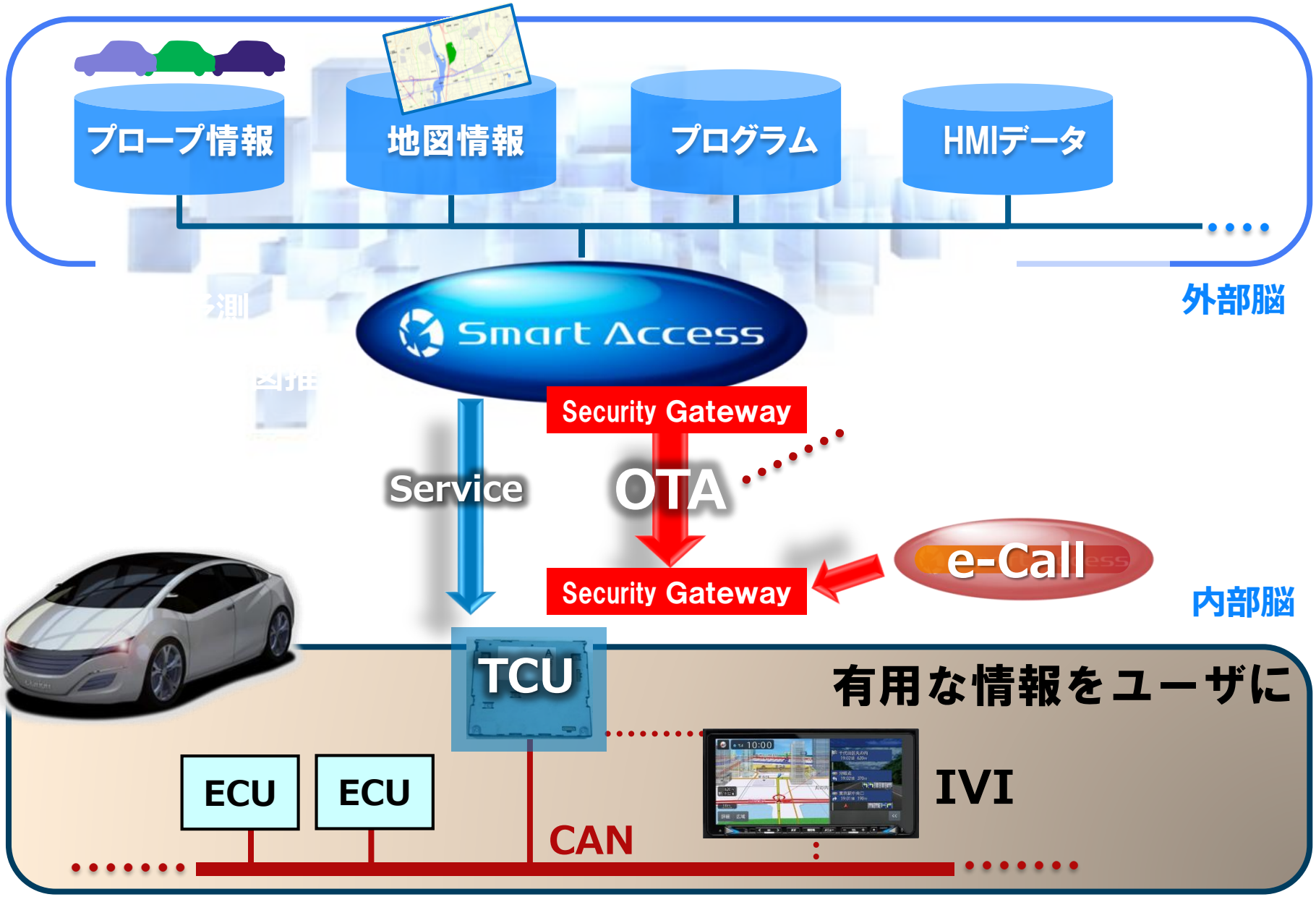
センシングシステム 公道実証実験

自動車線追従、自動車線変更等の試験

サラウンドアイセンシングによる周辺車両/車線検出 状況の確認

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

コネクティビティの発展



Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

統合HMIへの取り組み　Smart Cockpit System

Clarion

“シンプルで安心できるHMI”をめざして

究極の気が利くエージェント＝パーソナライズされたUX

UX : User Experience

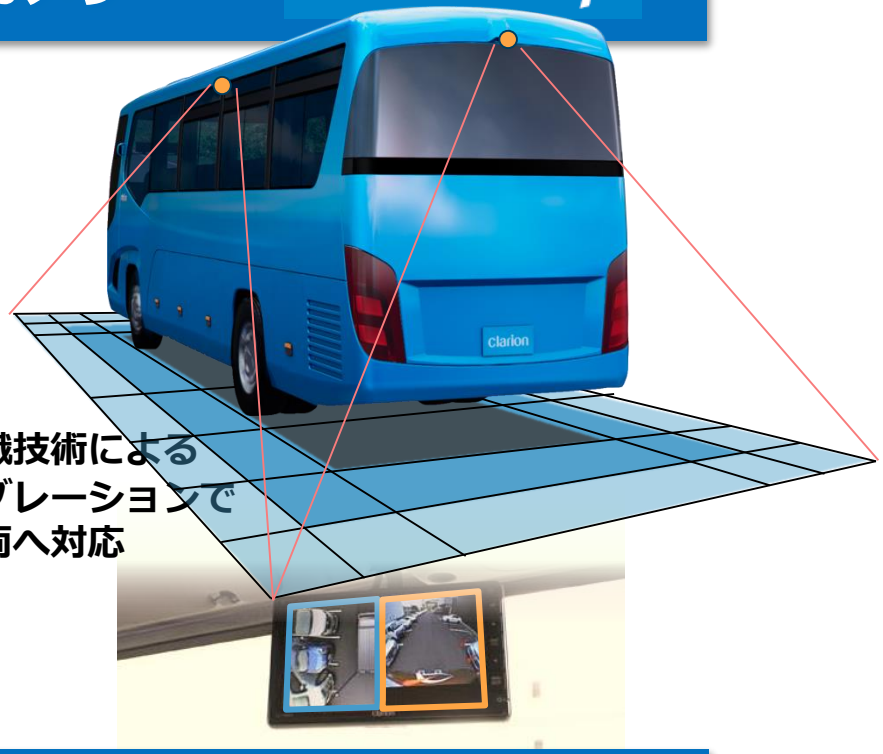
4感覚に連携適応し、ユーザと車両間の信頼感を醸成する統合制御HMIをめざす

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

Commercial vehicle（CV）トピックス

ＣＶカメラ

SurroundEye



画像認識技術による
キャリブレーションで
汎用車両へ対応

観光バス用オーディオシステム

情報伝達性の向上と多彩なメディア対応オーディオ

SOLID　AD-1

業種ごとに要求される様々なアプリケーションの追加を行える業務車両用車載端末
IP無線サービスモデルは、タクシー、宅配便、貨物運送などの幅広い業種の業務車両へのビジネスが拡大

リース車向けシンプルナビ

営業活動をサポートする簡単操作と充実機能
4ヶ国語の音声ガイド、地図英語表記

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

独自サウンド技術（フルデジタルサウンドシステム）

Clarion

車載用フルデジタルサウンドシステム

革新的な技術によって裏付けられたフルデジタルならではのピュアサウンドと環境に配慮したシステムの両立を実現。日本・米国・欧州・豪州での発売を開始

フランクフルト
モーターショー

東京オートサロン

フルデジタルサウンド　スペシャルコンテンツ

http://www.clarion.com/jp/ja/special-contents/fds/index.html

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.

Brand Promise

Clarion

moves you ▪ connects you

クラリオンは、
音、情報、快適、安全をあなたとつなげることで、
あなたを感動させます。

Copyright © 2009-2016 Clarion Co., Ltd.